

	<h1>志木三小だより</h1> <p>学校教育目標</p> <p>賢く 優しく 逞しく</p>	志木市立志木第三小学校
		平成30年度 第2号
		平成30年5月1日
		志木市柏町3丁目2番1号
		TEL 048 - 471 - 1062
		児童数5月1日現在 589名



社会性を育む

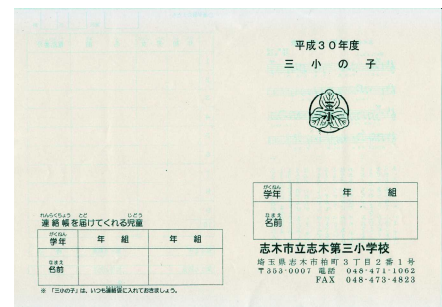
校長 可知 良之

今の子供たちに最もつけさせたい力は何ですか？ こう問われたら、何と答えたら良いでしょうか。世界で活躍できるような語学力、一流選手になれるような運動能力、自分のことはさておき人のために尽くせるような心根の優しさ等々、一つに決めるのはきっと難しいでしょう。今後10年先20年先は予測のつかない時代です。そのような世の中で生きていく子供たちには、様々な資質を小学生の頃から身につけていくことが大切だと思います。そのような力の一つとして、私がぜひ挙げたいのが『社会性』です。

社会性とは、「とじこもるのでなく、周囲の人々と交際しようとする生活態度。社交性。」(大辞林)と辞書に書かれているとおり他人と良好な関係を築くことができる基になるものです。挨拶を交わすといったことも円滑に交際するための潤滑剤になるでしょうし、優しい言葉かけをしたり助けあげたりといった行動ができれば社会性は大いに身に付いていくことでしょう。

学校も一つの小さな社会です。いわば大きな社会に出る前のリハーサルを毎日しているといっても良いかと思います。社会である以上、そこには守るべき決まりがあり、みんなが決まりを守っていくことで、学校という小さな社会は円滑に営まれ、子供たちは社会性を身につけていくものと思いません。では、子供たちの社会の決まり(ルール)は、どのようなものか・・・

子供たちには既に、配付済みの「三小の決まり」に細かく書かれています。



長い歴史の中で出来上がった決まりですので、一つ一つに意味があります。例えば、「公の場での呼び名は「さん」づけにします。」は、男女共同参画社会基本法がルーツになっています。「登校時間は8:00～8:15を守ります。」は、これより前に登校してしまうと学校に誰もいないことがあるからです。ぜひ、一度親子で一緒にじっくり読んでみてください。こんな決まりがあったのかと、きっと驚かれることでしょう。

つい先日今年初めての授業参観・懇談会がありました。自転車で来られた方が多かったのですが、残念ながら駐輪場ではない場所に停められた自転車が相当数ありました。児童が下校の際に自転車をよけながら歩いていたり、業者の車が通行できなかったりと支障も出ていました。こうしたことは社会の中ではよくあることかもしれませんが、せめて学校の中では、**模範的な社会**であってほしいと思います。私たち大人が子供たちに胸を張ってよき模範となれるように気をつけていきたいと気持ちを新たにしました。